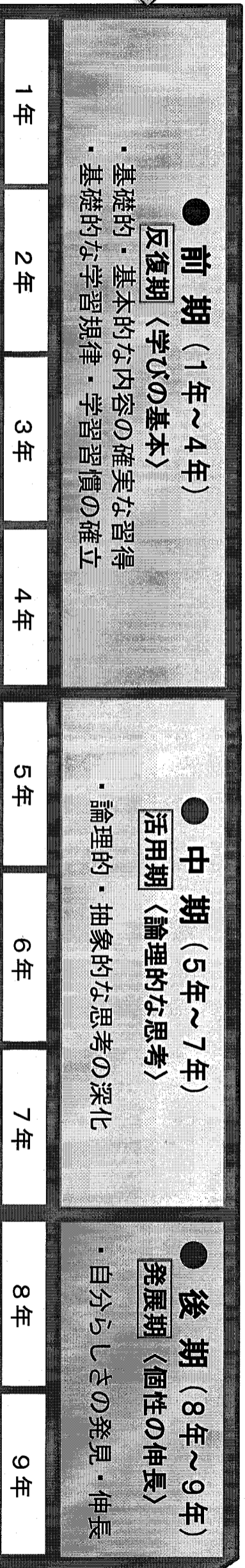


★ 併設型大分市小中一貫教育校 賀来小中学校の例 ★

1 各期別の特徴的な取組等についての概要

義務教育9年間を前期(4年)・中期(3年)・後期(2年)に区切り、一貫した教育カリキュラムを編成・実施



● 前期 (1年～4年)

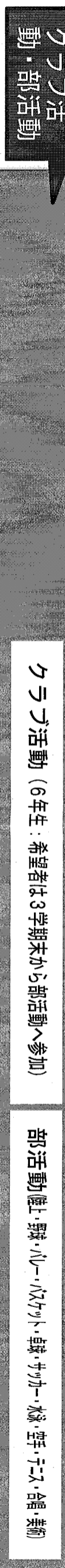
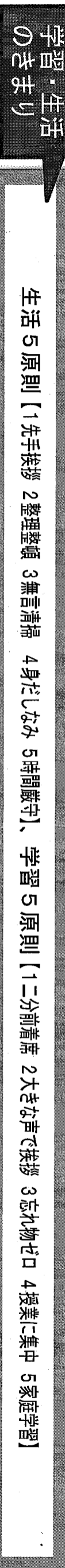
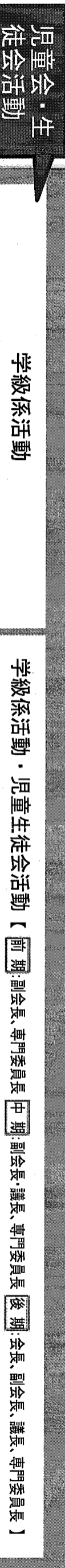
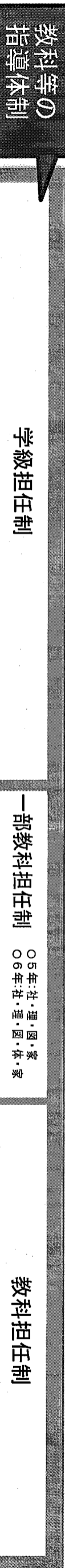
- 反復期**〈学びの基本〉
- ・ 基礎的・基本的な内容の確実な習得
 - ・ 基礎的な学習規律・学習習慣の確立

● 中期 (5年～7年)

- 活用期**〈論理的な思考〉
- ・ 論理的・抽象的な思考の深化

● 後期 (8年～9年)

- 発展期**〈個性の伸長〉
- ・ 自分らしさの発見・伸長



クラブ活動 (6年生: 希望者は3学期末から部活動へ参加)

部活動(陸上・蹴球・バレー・バドミントン・サッカー・水泳・空手・テニス・合唱・美術)

★ 併設型大分市小中一貫教育校 賀来小中学校の例
2 特色ある学習指導の一例

※平成26年度「学校要覧」から一部抜粋

● 9年間を見通した教科指導の充実 (例)

9年間を見通し、学習内容の系統性と各期の発達の段階を踏まえた独自の教育課程を編成・実施。教育課程特例校の指定(文部科学省)を受け、小学校1年生から英語科を導入。



系統性を踏まえた学習指導



秋に公開研究発表会を開催



AIと一緒に英語授業

● 意欲を高める学習指導の工夫 (例)

指導法の工夫・改善、発達の段階に応じた家庭学習、各種検定等、児童生徒の学習意欲を高める各種の取組を実施。

★ 算数・数学等の力を確実に付けていく
 授業形態のバリエーション

- 習熟度別コース授業
 ・一人一人の学びの実態に合わせ、よりきめ細かな授業を実施

H26は3・4・5・6・9年で実施

- 課題別コース授業
 ・単元の終末において、児童生徒が追究課題を選択し、コース別に授業を実施

H26は5・6年で実施

★ 国語及び英語の言語事項の理解と習熟を十分に図っていく指導法の工夫・改善

- 「言語の時間」を設定
 ・漢字、文の組み立て、敬語等

5・6年1時間/週

- 9年間を見通した〈言葉の学習〉〈漢字習熟〉のプログラムづくり

★ 9年間を見通した系統的な
 家庭での学習習慣作り

- 各期ごとに家庭学習のてびきを作成し、発達の段階に応じて指導

【前期】基本的な学習習慣を身に付ける

【中期】自学・自習の仕方を身に付ける

【後期】進路を見据え、学習内容の充実を図る



【家庭学習のてびき】

★ 「学力向上プラン」による
 国語・算数・英語の基礎学力の充実

- 各種オリシツピックを実施

- ・漢字オリシツピック
- ・計算オリシツピック
- ・英単オリシツピック

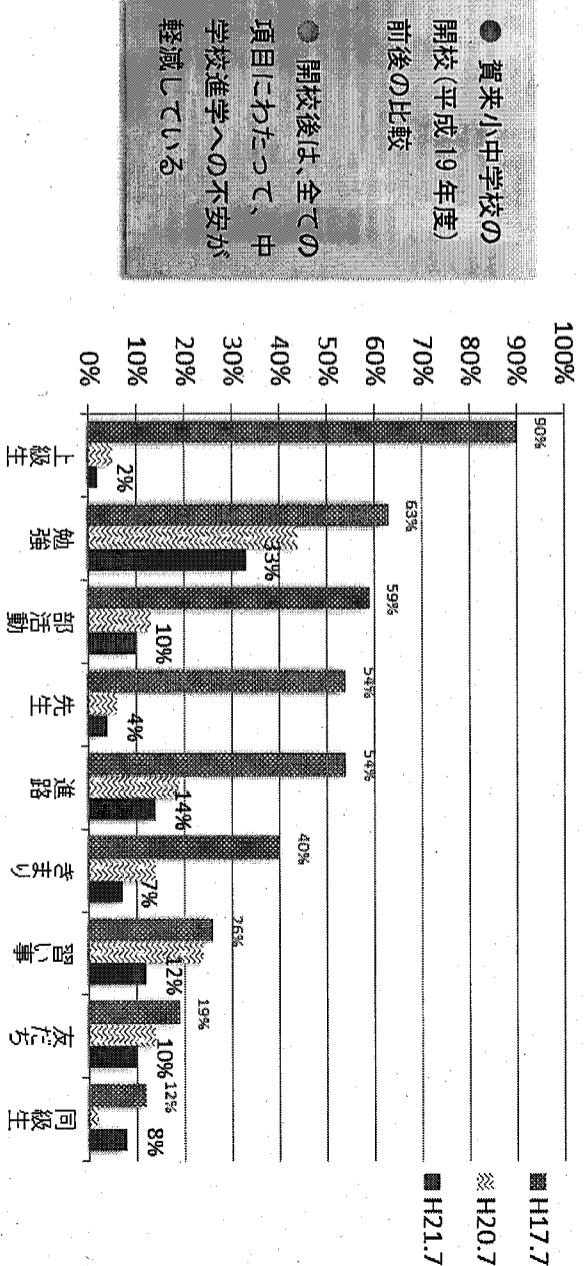
- 各種検定試験の参加

- ・漢字検定等



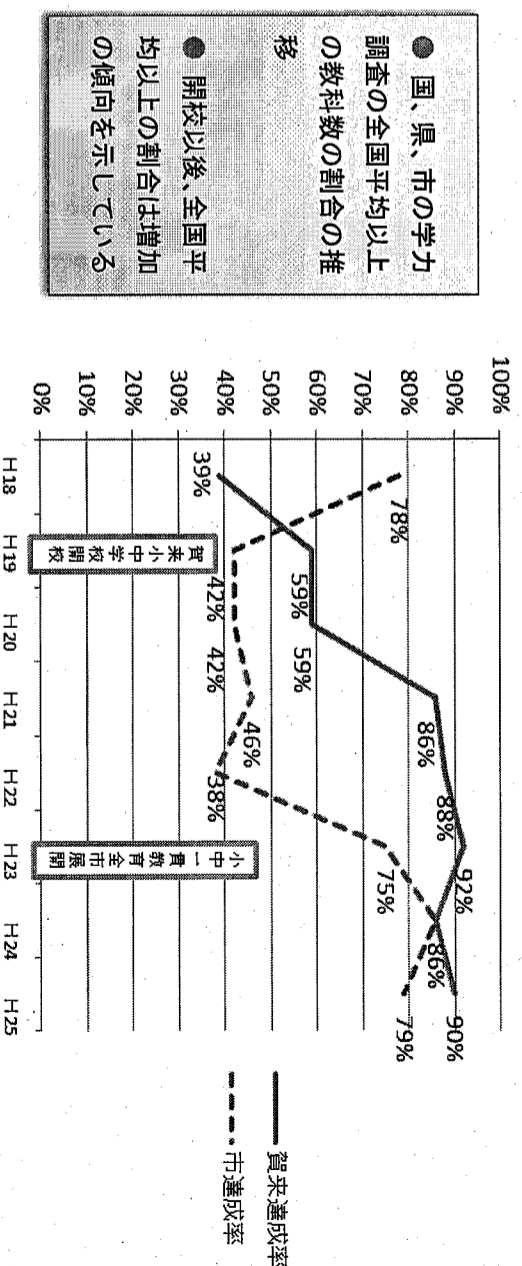
★ 併設型大分市小中一貫教育校 賀来小中学校の例
3 各種学力調査結果等の推移

● 第6学年児童の中学校進学に際しての不安の軽減 (平成17年度、20年度、21年度比較)



- 賀来小中学校の
 開校(平成19年度)
 前後の比較
- 開校後は、全ての
 項目にわたって、中
 学校進学への不安が
 軽減している

● 各種学力調査における達成率(全国平均以上の教科数の割合)の推移 (平成18年度～平成25年度)



- 国、県、市の学力
 調査の全国平均以上
 の教科数の割合の推
 移
- 開校以後、全国平
 均以上の割合は増加
 の傾向を示している

賀来小中学校開校

小中一貫教育全市展開

年度	人数	達成率 (%)
H18	18	78%
H19	22	86%
H20	22	86%
H21	22	92%
H22	16	86%
H23	12	92%
H24	14	92%
H25	25	90%